

議員団の一般質問 (続き)



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

教育上の新聞の役割・山東幼稚園の在り方で議論

今回は6月7日定例会一般質問での山脇議員と藤田議員の質問の続きを掲載します。山脇議員のテーマは「学校図書館への新聞配備について」と藤田議員は「山東幼稚園の在り方について」です。

学校図書館の新聞配備

Q、学習指導要領における新聞の活用について

A、現行の学習指導要領では、新聞の活用に関する表記が随所に見られ、各教科の内容や言語活動例、情報活用能力の育成の中にも新聞を教材として活用することが明記されています。本市としましては、これ

までから「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してきており、各教科の授業において、適切に新聞を活用していきたいと考えています。

Q、国が求める学校図書館への新聞配備について

A、調べ学習の状況については、インターネットや地域の方からの情報収集、学校図書館を活用することなどが多く、新聞による調べ学習の頻度は少ない状況でした。そのことから新聞配備の予算化については、その重要性を意識しつつも、学校図書館の充実を優先させることにしました。

計画的な配備を検討する

Q、新聞配備の予算化について

A、現在の市内小中学校の新聞の購読状況は、15校中12校が購読しており、以前よりも増えている状況です。現在の学習指導要領では、新聞を教材として活用することが位置付けられていることから、本市においても授業における新聞活用の必要性を感じているところであります。そのため、今後も学校への計画的な新聞の配備について検討していきます。

アンケート結果について

Q、アンケート調査結果における育児休業者について

A、育児休業中と回答された方のうち、復職を希望されている方は一定数おられると思いますが、今回の調査では復職の希望を問う設問を設けておりませんでしたのでその割合は把握していません。

アンケート結果からフルタイム勤務または短時間勤務への変更を希望している方が8割から9割ということになりました

Q、アンケート調査結果における今後の就労変更について

A、未就園児がいる家庭のアンケート結果からフルタイム勤務または短時間勤務への変更を希望している方が8割から9割ということになりました。いまして、現在、就労されている方や育児休業中の方にも回答されていることや、短時間勤務の方が必ずしも長時間の保育を希望されているとは限りませんので、この調査結果をもって、保育所や認定こども園の入園希望が増加するとまでは言えないと考えます。

自由記載で多くの方が認定こども園化を求めているが、住民の声をどう考えるのか

Q、自由記載で多くの方が認定こども園化を求めているが、住民の声をどう考えるのか

A、存続を希望する意見は93件あり、そのうち認定こども園に変更するなど施設の継続を希望する意見が77件ありました。

幼稚園を認定こども園に変更するということは保育の受け皿を増やすことを意味しています。山東地域で

は保育の受け皿は現状においても、充足しており、今後、子どもの数の減少も見込まれています。このことは、在り方検討委員会でも議論され、過剰な定員枠の確保となり、民間教育・保育施設への経営的影響や、「集団の規模」の維持が困難となる懸念が懸念されるとの答申をいただいたところであります。市としても答申内容と同様の認識をしているところであります。

答申の結論は市判断を求めた

Q、「答申」では結論が出ず市に決定を求めた。市に求められた「総合的判断」とは。

A、「総合的な判断」とは、まさしく答申内容に沿った判断をしていくことと認識しており、山東地域における少子化の進行状況や、教育・保育施設での「集団の規模」、今後の施設の維持管理に要する経費、民間教育・保育施設への経営的影響などがその主なものと考えております。いずれにしても子どもたちにとって望ましい環境となるよう判断していきます。

雑感

学校給食の無償化を求める請願が6月14日の健康福祉教育常任委員会で3対4の僅差で否決されました。「求める会」では地元議員に要望活動をしていきましたが、残念な結果です。ただ28日の本会議最終日にしっかりと議論を行い、採決されるように頑張りたいと思います。賛成討論には山脇と藤田が行う予定をしています。ぜひ傍聴を宜しく願います。本会議は10時15分の予定です。伊吹山テレビでも放送される予定となっています。